

大学自己評価部会だより

第23号 (平成23年9月)

■教育研究目標

九州歯科大学は、質の高い教養教育と専門教育を学生に提供し、患者さん中心の医療を実践できる人材を育成します。この基本的な理念の実現に向けて、以下のような教育・研究を行っています。

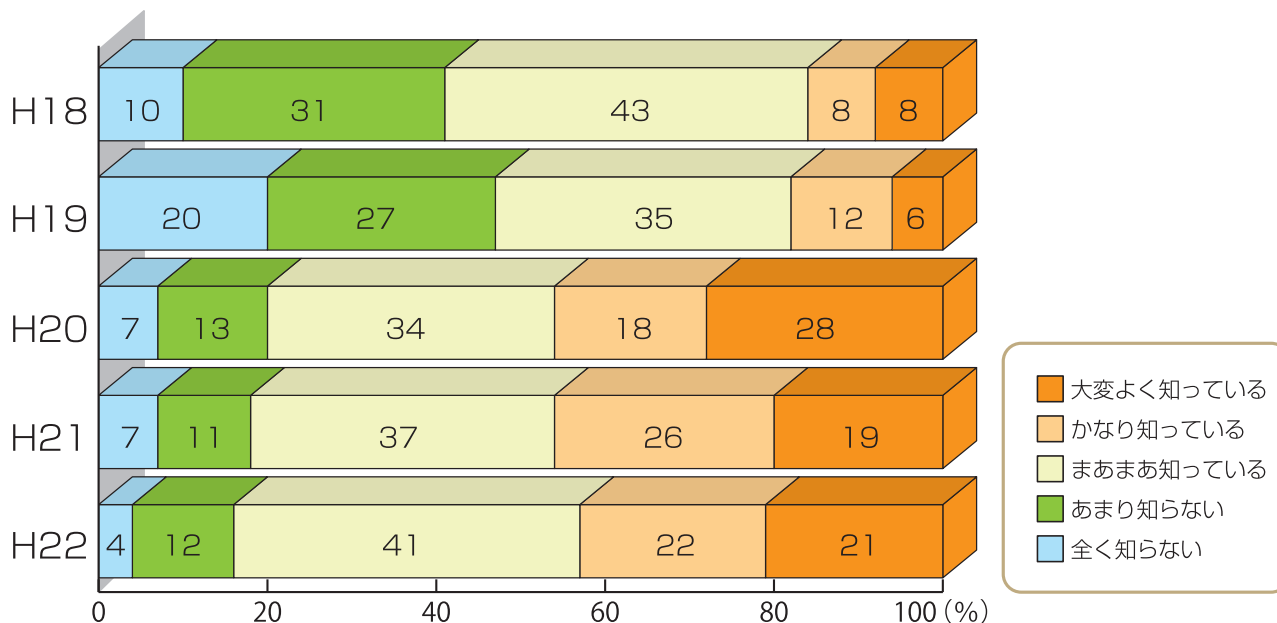
- (1) 新たな時代に対応できる柔軟な判断力と問題の自己解決能力を有する創造的医療人を育成する。
- (2) 歯科保健医療を通じて社会に貢献する医療人を育成する。
- (3) 高度な専門性を有する歯科医療人を育成し、高度先進医療の拠点病院としての機能を強化する。
- (4) 歯科医学を支える研究を推進するとともに、地域社会と連携した研究を展開する。
- (5) 国際社会に貢献できる人材の育成と交換留学生の受け入れを促進し、アジア太平洋地域の歯科教育研究機関との連携を強化する。

アンケートの調査結果を報告します

学部学生を対象とした大学理念の周知度、講義、実習および大学教育への満足度を平成18～22年度の各年度で比較しました。

① 大学理念の周知度

平成20年度は平成19年度に比べ、(大変よく知っているおよびかなり知っているの割合)の大幅な増加が認められました。それにともない、(あまり知らないおよび全く知らないの割合)の大幅な減少も認められました。平成22年度は、21年度と比較して大きな変化はありませんでした。皆さん、さらなる大学理念の周知度向上を目指して頑張りましょう!!



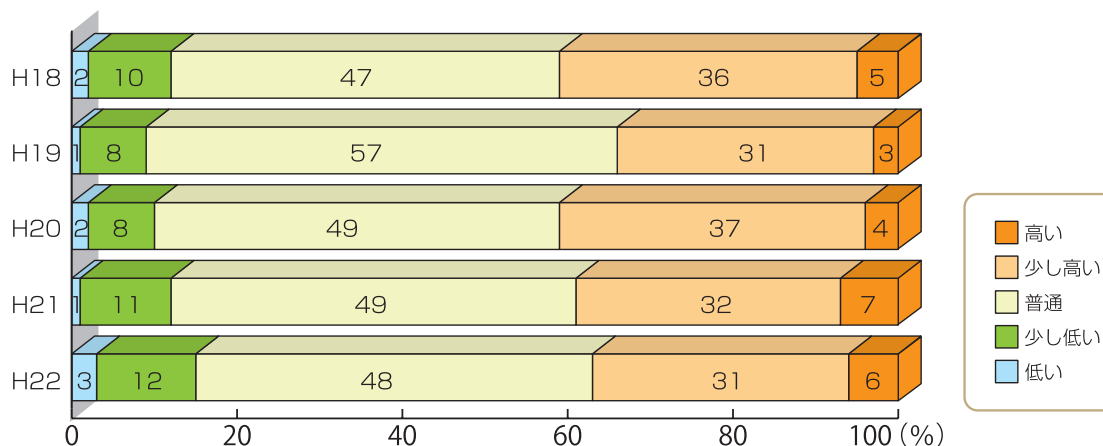


② 講義、実習の満足度

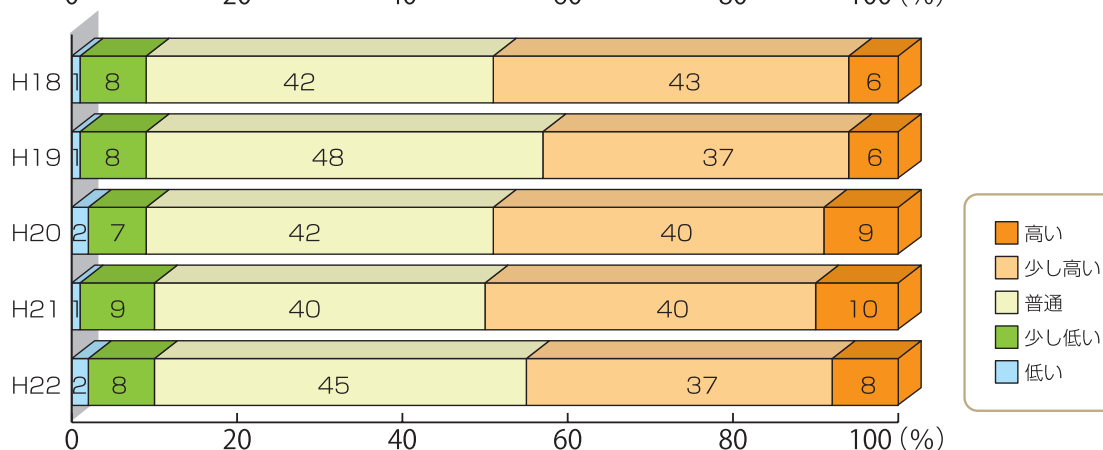
平成 22 年度は平成 21 年度に比べ、実習への満足度（高いおよび少し高いの割合）の減少が認められました。

今後は実習における満足度が上がるように教育改善の努力をしていかななくてはなりません。

講義の満足度



実習の満足度



③ 大学教育への満足度

平成 22 年度は平成 21 年度に比べ、大学教育への満足度（高いおよび少し高いの割合）の上昇が認められました。

今後はさらに大学教育の満足度が上がるように教育改善の努力をしていかななくてはなりません。

